**現場の週報から（令和2年7月6日～8月2日）**

**【7月6日～7月12日】**

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・7日に七夕会をしました。例年では、こども園の子供達と室内で歌を唄ったりと交流していました。今回は、外に飾った笹に、短冊を飾る際に見に来てくれました。その後、ＣＨでは流しそうめんをしました。太い竹を綺麗にくりぬいてもらったものに、サランラップを巻き、そうめんを流したり、ミニトマトやサクランボを流し、ご利用者の皆さんは一生懸命にとり食べていました。普段なかなか食欲がない方や、麺をあまり好まない方も、この時は笑顔で食べられていました。久しぶりの流しそうめんにも、楽しさが増したひと時でした。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・10日に七夕イベントを実施しました。7日に短冊に願い事をご利用者それぞれに書いて頂いていたのを笹の葉に飾って頂きました。「平和や健康」を願うご利用者とは対照的な職員の願い事は、「お金が欲しい！美味しいものを沢山食べたい！」でした。ご利用者のなかにはご主人と息子さんを先立たれた方がいて、その方の短冊には「パパ、早く帰って来て」と書いてありました。七夕の飾り一つ一つの説明や織姫と彦星の伝説を改めて聞きながら、ご利用者もご主人との馴れ初めに頬を赤く染めながら教えてくださいました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・つかの間の晴れ間があった日、昼にお好み焼きをしました。どんと焼きと話すとご利用者も「あー懐かしいね」とご自身で食べる分を「せーの」とひっくり返していました。「たまにいいね」と話し食べていました。

また「晴れたから家に連れって行ってほしい」とHさん。最近雨続きで行けておらず、久しぶりに自宅へ。夕方までゆっくりと過ごしてきました。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・宮城県でも感染者が増えてきたことから、再度看護師の伊藤さんと相談しながら、スタッフと感染防止策を見直し、適切な消毒作業や１ケア２手洗いに取り組んでいます。特に伊藤さんには予防策の理解を深めてもらい、スタッフの指導係として一緒に行動してもらっています。お互いに気づいた時点で言い合うことで（手指消毒や声エチケット等）さらに各自の感染防止策に対する意識も行動にみえるようになってきました。いざという時のために気を抜かず、これからも備えていきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・11日に誕生日を迎えた方が2名おり、それぞれのユニットで誕生会を行いました。ご本人の好きそうなもの、ご本人より食べたいとリクエストのあったものを昼食に頂き、お祝いをしました。

・10日には事業所のミーティングを行いました。コロナだから夏祭りや流しそうめんのイベントは自粛しなければならないと思っていたスタッフが多く、自分の伝え方が悪かったな…と反省しています。イベント自体を自粛するのではなく、対策、工夫をして楽しんでいただくことを考えていきましょうと意見交換が出来ました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・お一組のご面会がありました。ご家族より「職員さんは毎日マスクを使用していると伺ったので、よかったら使って下さい」と可愛いお花の刺繍を施された手作りマスクをご持参いただきました。ご家族の温かい心使いに職員のみなさん、感謝すると共に、ご家族に支えられていることに勇気付けられる想いです。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・今週は、利用者さんと職員のみんなが協力し作成してきた七夕飾りをホール内に飾りました。竹も本物を希望の杜職員の高橋さんより譲って頂きまして雰囲気のある七夕飾りが完成しました。利用者さんも飾り付けられた竹をご覧になられ、みなさん笑顔で表情よく七夕飾りを見ながら先週同様に昔を思い出しながら懐かしそうに七夕の話を楽しまれながら過ごされており、何とも晴れ晴れとした雰囲気を感じることができた時間を過ごすことが出来ました。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・7日に七夕イベントを行いました。スタッフの出し物をみてご利用者は大笑い。「みんなダンス上手だね」「櫻井さんはやっぱり芸者だよ。役者が違うね」とご利用者から感想を頂きました。来月はお盆イベントを3日間開催の予定なので、今週からご利用者と一緒に準備して参ります。

■介護老人保健施設さくらの杜通所リハビリテーション：齋藤貴子さん

・4月にさくらの杜を退所し通所ご利用中のKさんより、「退所の時はコロナ対策を皆で約束していた『甘いもの食べに行こう』が叶わなかったから、今度こそ実現したい」とお話があり、入所ご利用者４名とお別れ会ならぬ同窓会をKさんと一緒に企画しました。当日誕生日の方もいらっしゃり、ケーキでお祝いし、お話も盛り上がりました。同窓会は定期的に開催しようとなり、次回は入所中のTさんに焼きそばをふるまってもらう予定です。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・４月にさくらの杜を退所され、現在通所をご利用中のKさんより、「仲良くなったご利用者さんと同窓会したい、何か美味しいもの食べながらさ～」と話がありました。日にちの設定やどこで何を食べるかKさんや当日参加した４人のご利用者と打ち合わせをし、当日はおいしいケーキとコーヒーで“女子会”で大盛り上がりました。いつもは「私は何も食べれないの…」が口癖のHさんも想像以上に大っきいケーキを「うまいうまい！」とゆっくり最後まで食し「満腹満腹だ～！」と久々の笑顔にその場にいるみんな感激でした。最後は「またやろうね。こういうのは何回でもやりたいね。来月は何を美味しいもの食べようね～。Hさんをもっと元気に！」と約束していました。定例行事になりそうです。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・七夕イベントでちらし寿司やナスときゅりの味噌炒めをみなさんと作り、昼食にいただきました。収穫したばかりのナス、キュウリ、大葉をKさん特製の味噌ダレを使った炒め物はとてもおいしかったです。みなさんもとても喜ばれました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・今年も町内より七夕飾りの譲受をし、ゆづるのホールへ飾っています。お年寄りの皆様も思い思いに願い事を込めて短冊に記入し飾っています。今年は仙台七夕まつりが中止となりましたが、仙台の風物詩を皆様感じ取っていた様子です。仙台七夕の期間になったら市内の商店街は七夕飾りを飾るそうなので、ドライブで七夕見物に行きたいねとお年寄りの皆様も楽しみにしているようです。

**【7月13日～7月19日】**

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は機能訓練指導員と歩行訓練を兼ねながら近隣を散歩しています。ご本人からは「庭のお花がキレイだわ～」「やっぱり外の空気が美味しいね～」と表情良く話されております。なかなか制限の中でご不便をおかけしている状況ですが、しっかりと対策を行ないお年寄りを守っていければと思いますし、職員も危機意識がとても高くしっかりと対応が行なわれていると思います。イベントを行えない分、職員もテーブルに着きご本人のお声を大事にしていることが多くなってきているように思います。イベント再開に向けて、ご本人のお声を大事に対話を増やしていきます。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・１４日からのLEVEL３に伴い、イベントやドライブ外出を自粛し、感染予防と水際対策を意識した行動をとっています。新規のお問合せに関してはCMさんからもご理解を頂き、制限解除になったら必ずご連絡させて頂きことをお約束させていただきました。室内活動については、声エチケットやソーシャルデイスタンスを意識しながら、あたりまえの日常が送れるよう今後も知恵を出し合っていきます。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・雨の日が続いて、なかなか外に出ることができませんでしたが、室内で、換気をし・距離をとりながらの体操、レクリエーションを行って楽しんでいただきました。

・畑のピーマン、トマトが食べごろとなったので収穫しました。食事の際にお出ししましたが、おいしいと好評でした。初めて植えたかぼちゃは、つるがぐんぐん伸びはするものの、なかなか実が育たず。Oさんから受粉をさせなきゃダメだよとアドバイスをいただきました。雨上がりの夕方のひととき、Oさんにご教授を頂ながら、受粉作業とみょうがの収穫を蚊と闘いながら行いました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・13日Tさん15日Kさんの誕生日でした。当日はご本人の食べたい物リクエストを伺い、Tさんは大好きな大学芋を食べたいと。　15日Kさんは魚のリクエストで夕食をお刺身にしました。「自分の誕生日も忘れましたね」と話されていましたが、一緒に誕生日の歌を歌って微笑んでいました。

■グループホームあおばの杜：佐藤雄さん

・13日2階ユニットにて、お好み焼き・タコ焼きパーティーを実施。ご利用者へイベントの実施にむけての聞き取りを行った際、皆様からちょうどテレビで流れていた「粉ものが食べたい」とのお声を頂き実施しました。普段は遠慮がちな方も、ここぞとばかりにひっくり返す作業を協力していただきながら、皆で作りました。21日は1階ユニットにおいて流しそうめんイベントを予定していましたが、このような状況となってしまったので、流しはせずにそうめんを提供させて頂きました。今後も季節感を感じて頂けるよう出来る範囲の雰囲気作りを行っていきたいと思います。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・面会、外出が自粛となりましたが、ご利用者の皆さんは、比較的冷静に受け止めておられました。日々、コロナのニュースに関心を寄せられておられます。18日の昼食は「居酒屋風」に少し贅沢な食事を楽しみました。あるご利用者さんから「外出ができないけど、いつもこういう企画をしてもらうから、楽しみがあってありがたいね。」とお話されました。感染予防に心がけるための内容をクイズ形式にして出してみたことは、皆さんに予防の大切さを知って頂く機会になったと思いました。コロナが話題の中心になってしまいますが、全員で理解し、ひとりひとりができることを継続することが、大切になると思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週はスタッフからのリクエストでピラフとオニオングラタンスープを作りました。みなさん「初めて食べる」と、興味津々で調理をお手伝い下さいました。完成した料理を見ても、なんだこれ！という顔をされていましたが、味は絶品でした。

晴れ間をみて散歩や草取りを行ったり、夏の設えを考えたりと変わりなく過ごされています。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・ご利用者さんのお誕生日でケーキを作ったり、ソーメンを食べたい方、おやつ作りとしてパンケーキを焼いたり、昼食の天ぷらをお年寄りに揚げて頂いたりとコロナ禍の中でも、その時の言葉、一瞬を大切に、共に感じたり、楽しむ姿が見られております。以前ですと計画をたてイベント的要素が強くなっていましたが、逆にコロナ禍の中で、個別対応となり個々への想いに応えられている場面が増えているように思います。スタッフの柔軟な考え、対応に、いつも凄いなと感心しています。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・岬渚ユニットで生け花イベントをしたことがきっかけに、余暇活動クラブのある第2火曜日に毎月1回生け花の日を作ることにしました。コミュニティールームでみんな集まっての開催は感染予防の観点から難しいので、当日お花を各ユニットに配って行うことにしました。第１回目の感想は男性ご利用者さんが中心になったユニットがあったり、普段居室で過ごすことが多い方の参加があったりと「やっぱり花はいいね～」との声が多く聞かれたと嬉しい報告が上がりました。熱上げしてまだ体調が万全でないHさんもベッド上で行い楽しまれたそうです。各居室に飾ってもよいし、お花を囲んでみんなでお茶をするのもよいし、季節の花を楽しむきっかけになればと思います。

**【7月20日～7月26日】**

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・21日に事業所内で夏祭りを開催しました。今年は、入居者さんと職員のみで規模を縮小しての開催となりました。密にならないよう配慮しながら、催しものを行ったり、夏祭りのメニューとして、焼きそばやフランクフルトを作り、皆さんと一緒に美味しくいただきました。コロナウイルスの感染防止に配慮しながら実施することは大変でもありましたが、実行委員をはじめ、職員1人1人の協力もあり、皆で楽しみながら一日を過ごすことが出来たと思います。来年こそは、コロナウイルスが収束し、ご家族も招いて盛大に夏祭りが開催できることを願っています。

■デイサービスわかなの杜：鈴木樹江さん

・今週は土用の丑の日にうな丼とかき氷作りの室内イベントを行いました。なかなか食べれないうなぎにご利用者の皆さんは「豪華すぎで会社は大丈夫～」や「またイベント企画してください」と皆さんからたくさんのありがたいお言葉を頂きました。かき氷には練乳、フルーツを準備し美味しそうに盛り付けしてもらいました。「夏はやっぱり氷すいだね～」「最高でーす」と満足気でした。涼しい気候ではありましたが笑顔をたくさん見ることができましたし夏を大いに感じて頂き、職員も気持ちもお腹もいっぱいの１日となりました。コロナ予防により職員4人が自宅待機となっていますが業務の見直しを行ないながらお年寄りをしっかりと守っている状況です。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・先週、Oさんにご教授いただいたかぼちゃの実が大きくなってきました。今朝は10センチ以上になっていました。次は収穫時機を逃さないようにアドバイスを頂きたいと思います。収穫して食べるのが今から楽しみです。Ｍさんの旦那さんから、採れたてのきゅうりやジャガイモをたくさんいただきました。コロナが落ち着いたらホームにお招きして、お茶会を開催できたらと思います。8月に夏祭りのイベントを開催予定ですが、コロナの状況次第といったところでしょうか…。イベントは利用者さんも楽しみにされていることなので、対策をしっかり考えつつ、開催できるように準備していきたいと思います。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・長雨が続く日々で、入居者のみなさんはけやきの中での活動のみになっていましたが、入居者さんより「ぱ～っと晴れたら中庭にお花でも植えて育ててみない～」「きれいだろうね～」と笑顔でお話しされています。お店で売っているお花を写真に撮らせていただき、入居者さんが育ててみたいと思うお花を選んでいただき購入してきたいと思います。一緒にお花を植える日がとっても楽しみです。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・レベル３となり、三密を考えて、ご利用者と一緒にデイの体操への行き来などについて話し合いをしました。「ここで出来ることをしていいんでないですか？」「いいよここで」とデイへの行き来をレベル３の段階から、一度中止をしています。ホールで体操の時間を持ち、ゲームにチャレンジをしてみています。「面白いね」「何だか集中しちゃうねー」と行っています。日々、少しづつ笑いの時間が増しています。

・21日流しそうめんをしました。スタッフの自宅から竹を持って来て本格的な流しそうめん。準備の段階で「あらー何するの？」「竹なんて珍しいね」とワクワクされていました。当日は、とる事に集中していましたが楽しんで食事の時間が持てました。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・今週からご家族の体調不良により２名職員が１４日間の自宅待機となっております。月末にかけ少ない人数で事業所を守るにあたり、人のやさしさがつくづく身に染みています。GM塩原さんからは送迎業務に関する心強くやさしいお言葉と、GHゆかり梅村さんからは気遣いと心配の電話。ゆかり職員の荒井さんは「なにかあったら呼ぶから大丈夫だから事務仕事していてください」紺野さんは「大丈夫、大丈夫だから、俺風呂やるから」「朝何時に来たの？早かったんでしょ」長南さんは「私、午前、午後とお風呂やるから任せてください」伊藤さんは「大丈夫！一人でみれるから、何かあったら呼ぶから自分の仕事して大丈夫だよ！」理恵さんは公休の日にお子さんと遊びに来て、郵便局に行ってくれたり、こっそり来週の送迎調整をしてくれている。職員も大変なのに、なんとか私に事務仕事をする時間をつくってくれようとしています。それぞれが相手を思いやり１４日間を乗り切ろうと主体的に動いています。人のやさしさに心を満たされながら、この状況をみんなで乗り越えていきます。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・21日、土用の丑の日に「暑気払いパーティー」を行いました。重箱にお一人ずつ「うなちらし」を盛付、そばとセットにし、冷やし甘酒をお出ししました。皆さん、「うわー！きれいに盛付たね！」「おいしい！」と大好評でした。また、裁縫上手のKさんがコツコツと作って頂いた紅白幕をはり、天井から七夕飾りを吊るし、賑やかな雰囲気で開催できました。来月は毎年の規模より縮小して「夏祭り」を開催予定です。コロナ対策を行いながらできること、利用者さん、スタッフさんが一緒に楽しめる事を一緒に考えながら行っていきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・7/7の七夕は終了しましたが、使用した七夕飾りはそのまま残し、新たな飾り作りを行い、事業所内の設えをお祭り気分を感じられる雰囲気にしたくて引き続き、利用者さんと職員が一緒に協力しながら準備を行っています。今回も利用者さんたちは、会話を交えながら楽しそうに取り組まれています。中には、私は出来ないからいいですと話される利用者さんもいますが、他の利用者さんがやり方を教えながら一緒に行い出来る喜びや達成感を感じながら良い笑顔をそれぞれの皆さんが見せてくれました。まだまだ飾り作りは続きます。少しでもお祭りの雰囲気を感じられる設えを目指して、みんなで取り組みます。

■特別養護老人ホームふたばの杜：佐山晴香さん

・26日にコロナウイルスのストレス発散イベント、スイカ割りを行いました。「右ー！左ー！」と皆さんの声や笑い声が飛び交い大盛り上がり。「最近は出かけられないから今日はすごくストレス発散したよ～」と大好評なイベントになりました。

・23日Hさんのお誕生日でした。その日は本当であれば奥様を交えてお祝いを行う予定でしたが、面会制限があったため職員のみでお祝いを行わせていただきました。Hさんが少しでも喜んでいただければ…という気持ちから、居室担当の田守さんが前日から特大プリンを仕込み、居室には奥様との２ショットのお写真を飾らせていただきました。ご本人からのお声や訴えはなかなか汲み取ることは難しいこともありますが、こういった時期だからこそちょっとしたイベントを大切にしていきたいと思います。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・小規模事業所の利点でもありますが、おやつをご利用者さんと一緒に作る姿が見られます。事業所にある残材料をみて、ご利用者さんに「何食べたいですか？」「これ作ってたべましょうか？」とバナナ入りのパウンドケーキやホットケーキなど、チョコレートをかけたりいろいろなバージョンの手作りおやつがゆづるでは出来上がっています。お年寄りの皆様も「手作りお菓子は美味しいっちゃね」「あんだ達も食べさい」と一緒に手作りの味を食し楽しむ姿が見られます。帰りの送迎車内でも、「今日も美味しいおやつご馳走になったや」と報告してくれます。ホットする瞬間でもあり、この日常を守らなければと気が引き締まる瞬間でもありました。

**【7月27日～8月2日】**

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・28 日ご家族からスイカを頂きました。みんなで食べてくださいと頂いたスイカを、どうしますか？スイカ割りでもしますか？と突然でしたがスイカ割り大会となりました。Tさんが「見えないのが面白いんだって」と話し、ひょっとこのお面をして、スイカ割りをしました。昼にはおはぎ作り。男性のHさんも「半殺し作っから」と手伝ってくれました。

■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・１、２日。天気が良くなり、近隣の公園へ散歩に行ったり、おやつ作りをしたり過ごされております。２階ベランダにいたつばめが巣立って行きました。皆さん、つばめを見て「今日も鳴いているね」等お話されておりましたが、つばめがいなくなると、皆さんとても寂しい気持ちになっております。自然と共生できる事はとても大切と感じました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・毎年この時期には、仙台七夕に行くのが、ケアホームの恒例行事になっていました。今年は中止とのことで、設え担当のスタッフが、ご利用者が毎日たくさん作っておられる鶴を頂き、他のご利用者と色分けしました。普段、あまり手作業などをしないTさんも、目の前の鶴を丁寧に色分けをしてくださっていました。その鶴と花紙で吹き流しを作りました。今年は、この七夕飾りを見て楽しみたいと思います。



■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・29日スタッフ高野さんが先生となり、3名のお年寄りが和柄の布切れを使用しブローチづくりを行いました。綺麗なブローチが出来上がり、皆さん大変喜ばれておりました。その後の利用の際、あるお年寄りより、「みんなでこれ使って」と和柄の布を頂きました。ゆづるでまた楽しみがひとつ増えた様子です。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・デイケアのホールには短冊が付いた笹竹があり、天井からはミニ七夕が吊るされています。外出できない状況ですが、ホールは七夕の雰囲気にあふれています。31日に和食の出前企画を行いました。天丼やネギトロ丼、天ざるセット等それぞれが好みのメニューを選んで注文しています。スタッフはお年寄りとの関わりの中で食べたいものを聞き取りしながら、色々な店に問い合わせする姿が多くみられています。職員も出前企画を楽しんでいる様子で、いろいろな広告を持ち寄り、お年寄りと一緒に眺めながら「これが良い、あれが良い」と言いながら楽しんでいます。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・仙台市内でもコロナウイルスの感染者が増えてきて、気を抜けない日々が続いていますが、スタッフも利用者さんも元気に過ごされています。雨が上がったときには畑のトマト、みょうがを収穫したり、かぼちゃの成長を楽しみにしています。（かぼちゃは収穫まであと少し！Oさんは天ぷらで食べたいそうです）今まであまり体操をするという習慣がなかった1階のユニットでしたが、スタッフの声がけにより、少しずつ習慣化してきています。身体を動かすことで、心身ともに元気で過ごしていきたいものです。雨降りが多かった7月でしたが、ようやく梅雨が明け、これからは気温が高い日が続くと思いますので、コロナ対策はもちろんのこと、熱中症の予防にも気をつけていきたいと思います。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・ご利用者のお宅から夏野菜を沢山頂きました。トウモロコシも頂いたので、ご利用者に皮を剥いていただきました。皆さん手慣れたもので20本近くをあっという間に剥き終わりました。茹でたてをご利用者に食べて頂くとき、「食べずらい方は粒をほぐしますよ！」と職員の声掛けに「このままかぶりつきたい‼」と元気な皆さんの返答。普段、入れ歯に物が挟まって食べずらいなど声があがっている方も、思いっきりかぶりついていました。

■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・コロナに加え長雨。散歩さえもなかなかできず、室内で過ごすことが多い週でしたが、散髪のご希望があった方へ、ここ、いちいの風で理容室なみに（？）対応させて頂きました。もちろん無料です。髪を切りそろえるだけでも、気分も変わります。すっきりされたご利用者さんの嬉しそうな笑顔に癒されます。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・小規模では毎日のレクリエーションで、ご利用者さんとスタッフも一緒に楽しみながら行っています。午後にカードゲームで遊びたいご利用者さんがいたり、それを楽しみに来て下さる方もおり、３密に気を付けながら行っております。今後も今できることを一生懸命ご利用者さんと楽しみながら行っていきたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・Hさん、貯水槽の草を見て「また生えてきたなぁ～」といいながらも、草刈りを行って下さいました。またいずみの杜畑のインゲンやトマトも育ち、Hさんが収穫し、野菜詰めを奥様方が行って下さり、今後は『格安で販売』出来たらと計画しておりました。改めてご本人とお話ししまして、「対価」を求めておりませんので、奥さんの付き添いの部分でご本人はデイに来ていらっしゃるので、ボランティアの形で進めていければと思っております。



■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・28日午後よりホットケーキ作りを行いました。いつものように、利用者さんと職員が一緒に協力しながら会話も交えて作り方を行いました。利用者さんは笑顔を見せながら隣席の方と協力しながら混ぜたり、焼いたりとそれぞれの役割をしっかりと行いながら楽しそうに取り組まれていました。完成品を見て、美味しそうだねと言った声が聞かれていました。みんなで一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。